

①自動車1台毎に1枚作成することとなっているため、複数台を1枚に合算して申請しないこと。

定枠の申込書

(優良ハイブリッドトラック、CNGトラック)

②「申込年月日」欄に記載された日付が申請受付期間であること。

平成 年 月 日

| | | | | | |
|--|---------------------------|--|---|-----|---|
| 申請者 | 氏名又は名称及び代表者名 | ③「申請者欄」にトラック事業を営業者の氏名又は名称及び代表者名を記載すること。 (事業番号(数字12桁)) | | | 印 |
| | 住所 | ④「優良ハイブリッドトラック」をチェックすること。 | | | |
| | 担当者 | 氏名 | 電話 | FAX | |
| | 連絡先 | E-mail | | | |
| 補助申請予定車両 | 種別 (☑をする) | ☑優良ハイブリッドトラック、□CNGトラック | | | |
| | 車両総重量 (☑をする) (最大積載量は減トン前) | □軽自動車・2.5ト以下(軽除く)・□2.5ト超3.5ト以下・□3.5ト超(最大積載量4ト以上) | ⑤「登録(予定)日」の日付が対象登録期間内であること。 | | |
| | 車名 (メーカー名) | ⑥見積書の金額(税抜き)と一致すること。 | | | |
| | 型式 | | | | |
| | 登録(予定)日 | 平成 年 月 日 | | | |
| | 補助対象経費(予定) | 円 | ⑦補助率が正しく適用された金額を記載すること (通常車両価格との差額の1/3) | | |
| | 補助金申請額(予定) | 円 | | | |
| | 使用の本拠の位置 | 都・道・府・県 | | | |
| 本申請は使用過程車をCNG自動車に改造するものである。 | | □はい・□いいえ | | | |
| ⑧「使用の本拠の位置」が受付運輸局(支局)の管轄と一致すること。 | | ス)により導入するものである。(☑をする) | | | |
| (リースの場合は、リース事業者名(予定):) | | | | | |
| 環境対応車(トラック)導入予定台数(全体) 台 | | ⑨導入台数が3台未満の場合、必ずいずれかにチェックすること。 | | | |
| ※上記、導入予定台数3台未満の場合は下記該当番号(①~⑤)に☑をする(※複数回答可) | | | | | |
| □①経年車の廃車あり、□②リースで導入、□③グリーン経営認証取得済、□④Gマーク取得済、□⑤ISO認証取得済 | | | | | |
| 地方公共団体等協調団体の補助額 | ※複数ある場合は合計額を記入 (団体名:) | | | | |

- (注) 1. 使用者たる運送事業者が導入予定車両1台毎に作成し、提出すること。リースによる導入の場合も同様とする。
2. 補助対象経費に係る見積書の写し(既に導入した場合は上記該当欄に契約日を記載するとともに、補助対象経費に係る請求書の写し及び自動車検査証の写し) ⑩未記入として下さい。
3. 平成30年度補正予算事業に限っては、貨物自動車運送事業報告規則に基づく直近の事業年度の事業報告書の表紙及び事業概況報告書((第1号様式)資本金及び従業員数の記載された書類)の写し。なお、運輸支局等の受付日が確認できるもの)
4. 経年車の廃車を伴う新車導入の場合は、廃車予定自動車の自動車検査証又は廃車済自動車の登録事項等証明書(詳細)の写しを添付すること。
5. 使用過程車をCNG自動車に改造する予定の申し込みの場合は、見積書を添付すること。
6. 過去に正当な理由無く内定を辞退した者については、今年度の内定に際してその事実を考慮することがある。

内定整理番号:

平成30年度 低公害車普及促進対策費補助金の交付予定枠の内定通知書
(優良ハイブリッドトラック、CNGトラック)
上記の申請予定車両については、記載のとおり 補助金の交付予定枠を内定する。
(下記の通り)

平成 年 月 日 ○○運輸局長 印